

歌ってストレス解消

安曇野 豊科歌声会が盛況

安曇野市の豊科歌声会は毎月1回、豊科近代美術館などで歌声喫茶を開いている。毎回、

40人ほどが参加。安曇野市内だけでなく、麻績村や松本市などからも足を運ぶ人がいる。

市豊科)は「何もかも忘れ、ストレス解消になる」、小口文子さん(69、松本市波田)は「昔歌った童謡唱歌が多いので、若いころに戻った気持ちになる」などと話した。

元わさびーずの堀六平さん(66、安曇野市穂高)のリードで、生ギターに合わせ、次々歌う。このほど同美術館で開いた6月の会は、「とんがり帽子」「里の秋」「故郷(ふるさと)」など40曲以上を歌った。

歌好きの伊藤博文さん(68、安曇野市豊科)が、歌を通して仲間づくりやストレス発散をしようと、昨年7月から始めた。

7月の会は10日午後1時半―3時半、ピレッジ安曇野。参加1500円。午前11時半から

安藤憲子さん(62、同

40人ほどが集まった

6月の歌声喫茶

らは、1周年の懇親会(要予約)を開く。伊藤さん ☎72-12001

